

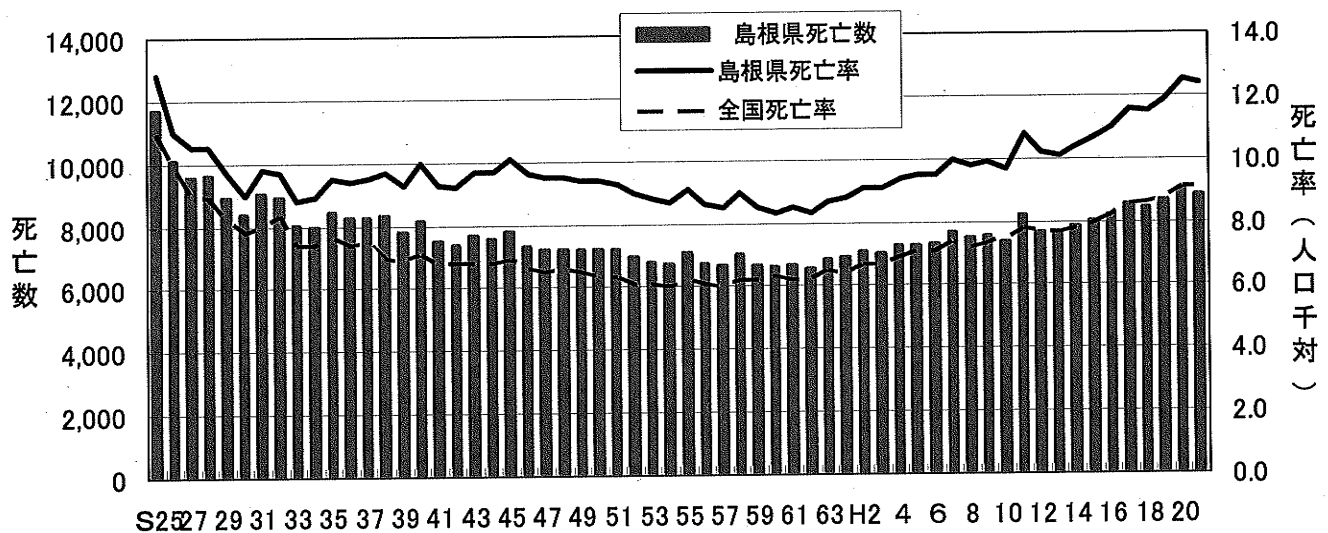
### 3 死亡

#### (1) 死亡数・死亡率

平成 21 年の死亡数は 8,854 人で、前年の 9,011 人より 157 人減少し、死亡率(人口千対)は 12.4 で、前年の 12.5 より 0.1 下降した。

死亡率の年次推移をみると、戦後急速に低下していったが昭和 30 年代半ばから低下傾向が緩やかになり、昭和 63 年からは人口の高齢化に伴って再び上昇し始め、上昇の傾向をたどり続けている(図 4)。

図 4 死亡数・死亡率の年次推移



年齢階級別に死亡率(人口 10 万対)をみると、5~9 歳、25~29 歳、40~44 歳、及び 80 歳以上で前年より増加した。

死亡率性比(男性の死亡率/女性の死亡率×100)を年齢階級別にみると、5~9 歳を除くすべての年齢階級において 100 以上となっており、男性の死亡率が高いことを示している(表 4)。

表4 年齢（5歳階級）別死亡数・死亡率（人口10万対）・死亡率性比

年齢階級	死亡数			死亡率			死亡率性比
	平成21年	平成20年	対前年増減	平成21年	平成20年	対前年増減	
総数	8,854	9,011	△ 157	1,238.3	1,251.5	△ 13.2	115.8
0～4	13	14	△ 1	44.8	48.3	△ 3.5	513.2
5～9	6	4	2	19.4	12.5	6.9	18.8
10～14	-	-	-	-	-	-	-
15～19	8	14	△ 6	24.2	41.2	△ 17.0	282.3
20～24	11	23	△ 12	33.3	69.7	△ 36.4	423.5
25～29	24	22	2	75.0	62.9	12.1	140.0
30～34	29	30	△ 1	70.7	71.4	△ 0.7	211.6
35～39	33	34	△ 1	76.7	81.0	△ 4.3	298.3
40～44	67	49	18	176.3	128.9	47.4	179.2
45～49	74	75	△ 1	180.5	178.6	1.9	218.7
50～54	129	138	△ 9	280.4	293.6	△ 13.2	230.8
55～59	276	289	△ 13	501.8	489.8	12.0	283.8
60～64	357	378	△ 21	649.1	726.9	△ 77.8	253.5
65～69	440	443	△ 3	956.5	984.4	△ 27.9	300.0
70～74	659	746	△ 87	1,464.4	1,554.2	△ 89.8	271.0
75～79	1,145	1,171	△ 26	2,544.4	2,545.7	△ 1.3	248.1
80～	5,583	5,581	2	7,754.2	7,972.9	△ 218.7	150.7

注(1)：死亡率性比＝男性の死亡率／女性の死亡率×100

(2)：年齢階級10歳～14歳は死亡者がいなかったため、死亡率性比については計上していない。

## (2) 死因

### ①死因順位

平成21年の死亡数を死因順位別に見ると、第1位は悪性新生物で2,480人（人口10万対死亡率346.9）、第2位は心疾患で1,421人（死亡率198.7）、第3位は脳血管疾患で973人（死亡率136.1）となっている（表5）。

主な死因の年次推移を見ると、悪性新生物は年々徐々に上昇し、昭和59年には脳血管疾患を抜いて死亡原因の第1位になり現在に至っている。脳血管疾患の死亡率は低下傾向にあり、平成12年からは第3位に下がった。老衰はほぼ横ばいに推移していたが、平成19年から3年連続で上昇している（図5）。

図5 主要死因の死亡率の年次推移

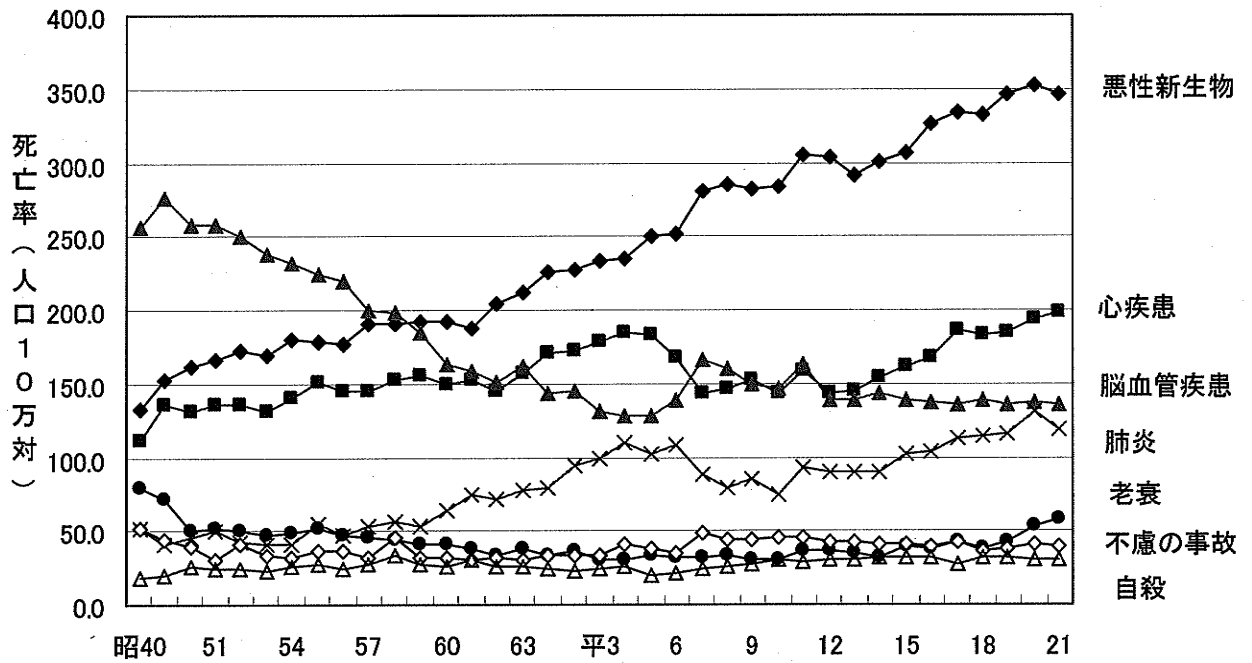


表5 死亡数・死亡率（人口10万対）・死因順位；性別

死 因	平成 21 年									平成 20 年		
	総数			男性			女性			総数		
	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率
悪性新生物	1	2,480	346.9	1	1,499	439.6	1	981	262.3	1	2,545	353.5
心疾患（高血圧性を除く）	2	1,421	198.7	2	641	188.0	2	780	208.6	2	1,393	193.5
脳血管疾患	3	973	136.1	4	456	133.7	3	517	138.2	3	988	137.2
肺炎	4	854	119.4	3	476	139.6	4	378	101.1	4	940	130.6
老衰	5	416	58.2	7	104	30.5	5	312	83.4	5	380	52.8
不慮の事故	6	284	39.7	6	160	46.9	6	124	33.2	6	297	41.3
自殺	7	221	30.9	5	165	48.4	10	56	15.0	7	215	29.9
腎不全	8	169	23.6	8	84	24.6	7	85	22.7	7	215	29.9
慢性閉塞性肺疾患	9	113	15.8	9	82	24.0	18	31	8.3	9	140	19.4
肝疾患	10	108	15.1	10	70	20.5	13	38	10.2	10	112	15.6

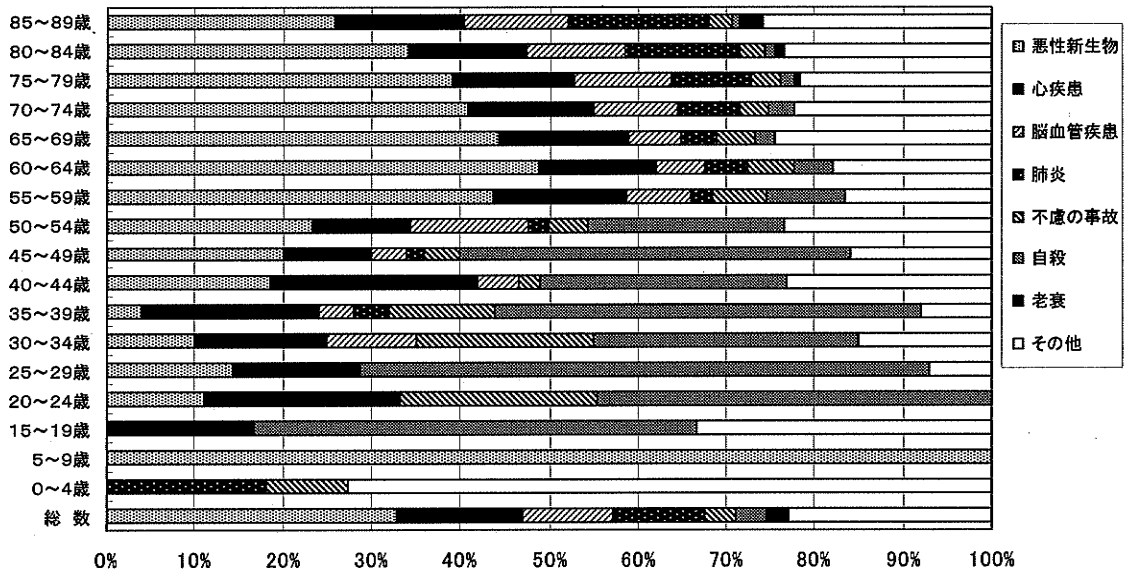
注：女性の8位は「大動脈瘤及び解離」で死亡数61・死亡率16.3である。

女性の9位は「血管性及び詳細不明の認知症」で死亡数60・死亡率16.0である。

## ②年齢別死因

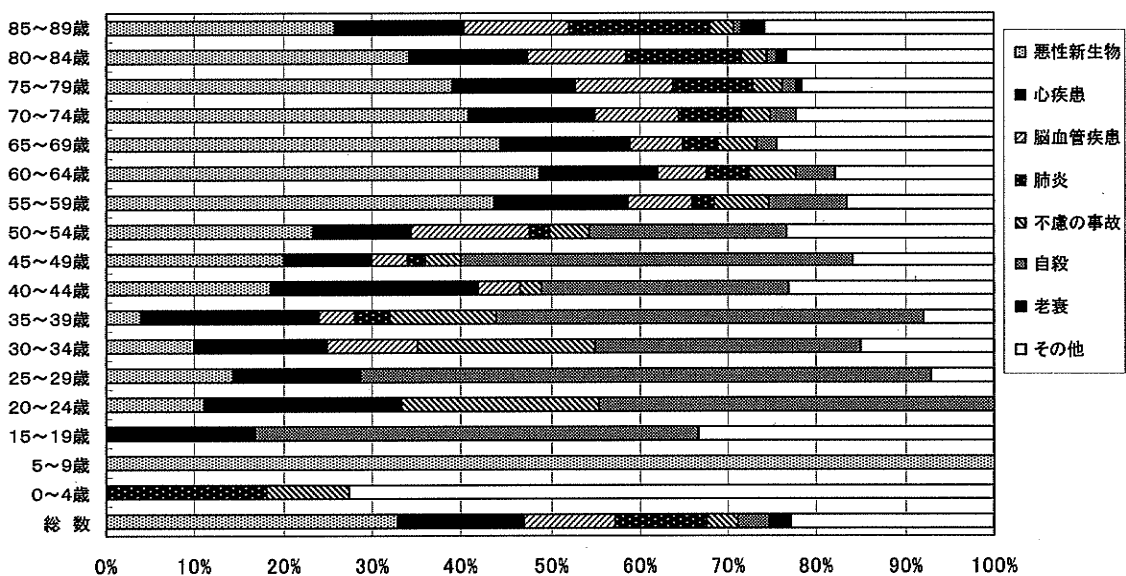
平成 21 年の死因を性・年齢（5 歳階級）別構成割合から見ると、15～19 歳、20 歳代及び 30 歳代では自殺の占める割合が高い。40 歳代からは年齢が高くなるに従って悪性新生物の占める割合が高くなっており、70 歳代からは、心疾患、脳血管疾患、肺炎の占める割合が次第に高くなってきている（図 6）。

図6-1 性・年齢(5歳階級)別に見た主な死因の構成割合(男性)



注:年齢階級 10 歳～14 歳は、死亡者がいなかったため、省略した。

図6-2 性・年齢(5歳階級)別に見た主な死因の構成割合(女性)



注:年齢階級 10 歳～14 歳は、死亡者がいなかったため、省略した。

### ③部位別に見た悪性新生物

悪性新生物について死亡数、死亡率を主な部位別に見ると、男性については胃及び肝が上昇し、肺、大腸が下降している。女性については、胃及び乳房が上昇し、子宮及び肺、肝、大腸が下降した(表6、図7)。

表6 悪性新生物の主な部位別死亡数・死亡率(人口10万対)の年次推移

部位	S30	40	50	60	H8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
死亡数																			
【男性】																			
胃	250	314	293	273	263	251	255	252	267	216	243	230	233	230	206	250	231	251	
肺	19	61	82	169	250	281	273	292	299	272	288	282	341	363	316	358	331	308	
肝	54	55	65	121	206	179	194	182	208	182	164	181	179	191	173	174	165	168	
大腸*	23	42	48	79	151	128	155	175	163	138	142	155	139	164	160	136	183	162	
【女性】																			
胃	165	179	202	149	159	151	134	138	137	145	153	153	150	152	125	149	146	158	
肺	8	18	32	52	109	94	90	93	98	110	112	91	91	107	124	113	124	119	
肝	37	33	35	55	89	94	80	93	99	85	100	76	96	90	80	89	100	83	
乳房	18	16	25	28	38	48	38	54	43	55	53	56	74	54	71	69	60	64	
子宮	93	71	57	40	38	35	27	34	25	24	31	31	26	21	31	33	38	17	
大腸*	30	44	48	85	123	114	124	133	125	129	125	150	139	150	165	146	168	146	
死亡率																			
【男性】																			
胃	54.7	79.8	80.0	71.7	71.7	68.6	70.1	69.4	73.7	59.7	67.5	64.2	65.4	65.2	59.0	72.3	67.3	73.6	
肺	4.2	15.5	22.4	44.4	68.1	76.8	75.0	80.4	82.6	75.1	80.0	78.8	95.8	102.8	90.5	103.5	96.5	90.3	
肝	11.8	14.0	17.7	31.8	56.1	48.9	53.3	50.1	57.4	50.3	45.6	50.6	50.3	54.1	49.6	50.3	48.1	49.3	
大腸*	5.0	10.7	13.1	20.7	41.1	35.0	42.6	48.2	45.0	38.1	39.4	43.3	39.0	46.5	45.8	39.3	53.4	47.5	
【女性】																			
胃	34.9	41.8	50.4	35.8	39.8	37.8	33.7	34.8	34.7	36.8	38.9	39.1	38.6	39.3	32.6	39.2	38.7	42.2	
肺	1.7	4.2	8.0	12.5	27.3	23.6	22.6	23.4	24.8	27.9	28.5	23.3	23.4	27.6	32.4	29.7	32.9	31.8	
肝	7.8	7.7	8.7	13.2	22.3	23.6	22.6	23.4	25.1	21.6	25.4	19.4	24.7	23.3	20.9	23.4	26.5	22.2	
乳房	3.8	3.7	6.2	6.7	9.5	12.0	9.5	13.6	10.9	14.0	13.5	14.3	19.0	14.0	18.5	18.2	15.9	17.1	
子宮	19.7	16.6	14.2	9.6	9.5	8.8	6.8	8.6	6.3	6.1	7.9	7.9	6.7	5.4	8.1	8.7	10.1	4.5	
大腸*	6.4	10.3	12.0	20.4	30.8	28.6	31.2	33.5	31.7	32.7	31.8	38.4	35.7	38.8	43.1	38.4	44.6	39.0	

注:大腸の悪性新生物は、結腸と直腸 S 状結腸移行部及び直腸を示す。

ただし、昭和40年は十二指腸と小腸を含み、昭和50年は肛門を含む。

図 7-1 悪性新生物の主な部位別死亡率(人口 10 万対)の年次推移(男性)

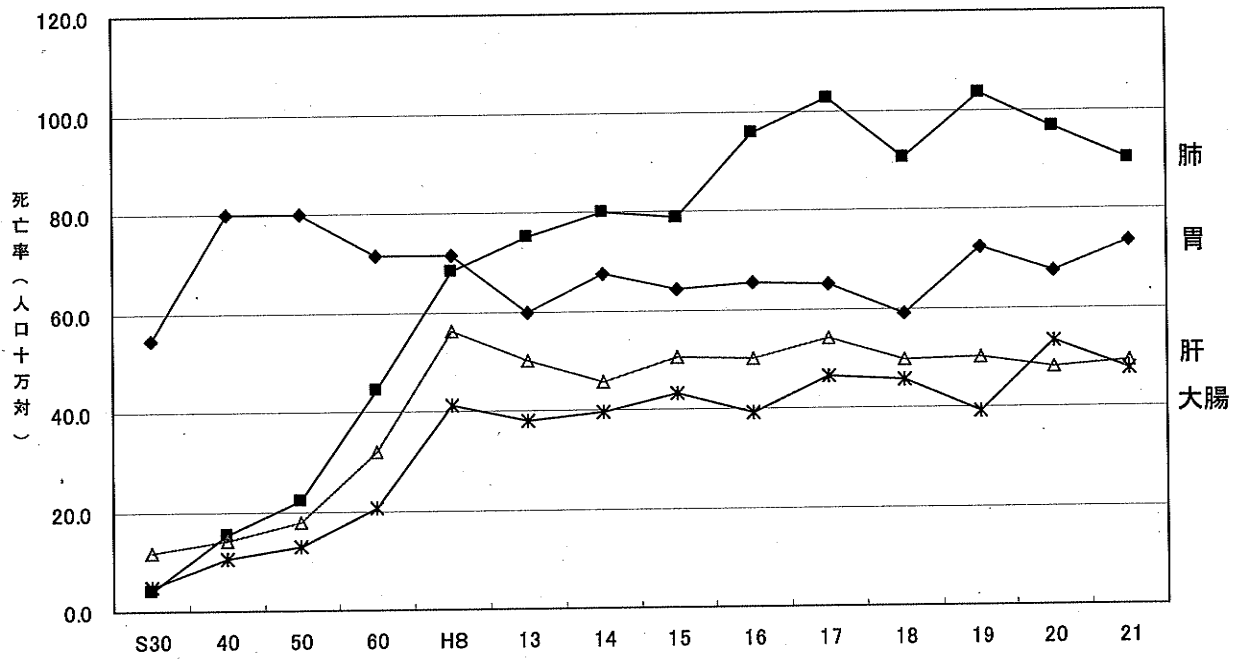


図 7-2 悪性新生物の主な部位別死亡率(人口 10 万対)の年次推移(女性)

